



新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ってみて、印象に残った言葉の一つに「シェア」という言葉があります。少し前に、初めてフリマアプリ（インターネット上で物品の売買ができるアプリ）を使ってみました。使い始めて数分で、簡単に出品ができ、その数分後には売買成立という事実を体験し、その便利さにとても驚き、時代の大きな変化を感じる出来事でした。

また、世の中では、「シェアリングエコノミー（共有経済）」という言葉が多く目にするようになりました。場所・乗り物・モノ・人・スキル・お金をインターネット上のプラットフォームを介して 個人間（C to C）でシェアをしていく新しい経済の動きです。最近、個人消費の拡大が進まないと言われていますが、こうした個人間の取引は数字としてGDPにも反映されておらず、私たちの見えないところで消費活動が活発になっているのかもしれませんが。実際に、2013年に150億ドルだったシェアリングエコノミーの世界の市場規模は、2025年までには3,350億ドルに拡大するとされています。消費活動が活発にといっても、「シェア」をするということなので、これまでのモノを買う・所有するという考え方とは変化してきている様子も見られます。必要なものを、必要なときに、必要な分だけシェアするという価値観がだんだんと増えてきている訳ですので、私たち企業においても、生産の仕方や考え方を変えないといけないのかもしれませんが。

一方、働き方の観点からは、仕事・時間・場所等をシェアすることができれば、新しい働き方が生まれてくるのかもしれませんが。私たち労働組合もしっかりとこの「シェア」という動きの先を注視していきたいと考えます。

私たちの組合活動自体も、いろんなモノ・事を「シェア」する取り組みといえます。過去、日本の高度成長期には「富」をシェア（分配）する機能を果たし、そして、少子高齢化が急速に進む現在は「富」だけではなく「負担」をシェア（共有）することも求められています。働き方改革やワーク・ライフ・バランス、エイジフリー社会の実現や男女平等参画社会の実現等、どれも、どのように「シェア」をしていくかを考えることがポイントだと思います。

電機連合静岡地協としましても、皆さんと様々な情報や活動をシェアし、皆さんと一緒に持続可能な社会の実現を目指してまいりたいと思います。引き続きのご支援、ご協力をお願い致します。皆様にとって、新しい年2018年が、実り多き年になりますようご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

